



### かるた出前教室（厚狭中学校）

本市が誇る文化の一つである小倉百人一首競技かるたを子どもたちに伝えるため、市内幼・保園、小・中学校で教室が毎年開催されています。この日は、厚狭中学校の1年生が、市かるた協会会員から競技かるたのルールや札の取り方などを学んだ後、競技かるたの疑似体験をしました。生徒は前傾姿勢で構え、読み手の声に集中しています。そして、上の句のはじめの音が聞こえた瞬間に下の句の書かれた札を倒れ込むようにして押さえます。と同時に歓声が沸き起こります。全生徒が、一喜一憂しながら真剣に取り組みました。



### サビエル高校の留学生との異文化交流会（厚陽小中学校）

「サインバイノー」とは、モンゴル語で「こんにちは」という意味のあいさつです。モンゴルから留学しているサビエル高校の生徒が、厚陽小・中学校の子どもたちと交流をしました。小学1・2年生は、「サインバイノー、アイム（ナマエ）、アイライクブルー、アイライクアポウ、ナイスチューミーチュー」などと自己紹介して、留学生と握手やハイタッチをして大喜びでした。そして、馬頭琴の生演奏を聞く機会もあり、初めて見る楽器の音色を神妙な面持ちで聞いていました。異文化交流第2弾も大いに盛り上がりを見せました。



### 補充学習（有帆小学校）

有帆小学校では、5・6年生を対象として、児童が自分の学力の課題を克服することを目的に月1回程度の補充学習が行われています。この日は、5年生が2、3人ずつに分かれて9人の教員の指導を受けながら学力検査の問題を解き直しました。苦手な問題を解いてから類似問題に挑戦し、「わかった、わかった」とつぶやいてできるようになった喜びを顔中に表していました。この時間はやりやすくよく分かることも話していました。子どもたちにとってはもちろんのこと、教員にとっても児童理解に役立つ機会となります。

